

スーパースマイル

2010年 夏号 (vol.62) くしま矯正歯科通信
545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 1-21-22 徳山ビル 4F
TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878
info@kushima-ortho.jp <http://www.kushima-ortho.com>

暑い夏になりました。夏バテしないように規則正しい生活をし飲み物などにも気をつけましょう。6月の近畿東海矯正歯科学会では院長が症例展示を行い2名の歯科衛生士も学会や講習会に参加して勉強をしました。彼女たちに印象を書かせていただきました。

歯科衛生士 高尾 亜琴

6月13日(日)に近畿東海矯正歯科学会に行かせていただきました。そこでは色々な講演や先生方の症例発表、展示などがありすごく勉強になりました。特に私が興味深いと思った“**歯磨きについて**”の内容を書かせていただきました。どうしても矯正装置をつけると、歯垢が付きやすく、磨き残しが多くなり虫歯リスクが高くなります。そして今までと違い凄く磨きにくくなるので、歯磨きに時間をかける必要があります。今まで通りの感じで磨くと、きっと磨きにくいワイヤーの下や 歯の間などは後回しになっていませんか?そうなるとう歯磨きに対して集中力がなくなってから、虫歯リスクの高い部位を磨く事になるので、結果虫歯リスクの高い部位に磨き残しが出来、虫歯を起こす危険性があります。まず、**磨きにくいところから磨いて、全体的に磨く**という習慣をつける事が大事です。今回学ばせていただいた事を基に、みなさんの口腔ケアのお手伝い出来るよ 努めていきたいと思えます。

歯科衛生士 中村 智子

5/23・6/6・6/20・6/27の4日間、歯科衛生士向けのテクニカルアップセミナーに参加させていただきました。口腔内の清掃や歯みがき指導、歯周検査など、いつも患者さまに行っている処置を、より良いものにするには、どのようなことに配慮するべきかということをお勉強させていただきました。具体的

には、歯周検査をさせていただく際、いつもは検査のあとに“検査の基準”
“どのような状態が良くてどのような状態が悪いのか”をご説明させていただいて
いましたが、検査を行う前に説明させていただくことで、患者さまと一緒に
部位を確認をしながら検査を行うことができ、今ご自身のお口の状態がどうなっ
ているのかを患者さまが認識していただき易くなります。説明を後から先に変
えるだけで、歯周検査が患者さまにとってより有意義なものになると思いま
す。

このように、いつも行なっている処置を見直してより良いものにしていくた
めの工夫や、技術の確認などをさせていただき、とても勉強になりました。
私たちの医院では、1週間に1回お昼休みを使って院長を始めスタッフが参加
した学会や勉強会、最新の医療技術などについて報告をする場が設けられてい
ます。今回わたしが参加させていただいたセミナーについても、毎週発表の機
会をいただき医院全体で患者さまにとってより良い診療を行うべく取り組みま
した。今後、さらに患者さまにとってより良い処置を行っていくため、様々
なことに積極的に取り組んでいきたいと思えます。